

# シェアラボ

SHARE LAB.

追手門学院大学  
成熟社会研究所

第4期テーマ  
私の仕事。

参加者  
募集中!



2017年

12月5日(火)

17:00～19:00

参加費：無料（定員40名）

会場：追手門学院大学 3204教室（3号館2階）

大阪府茨木市西安威 2-1-15

（JR 茨木駅、阪急茨木市駅から直通バスで20～30分）

途中からの参加もOK!

17:00～ミニワークショップ

17:20～ゲスト対談&質疑

18:20～グループワーク

～世界の旅人と地域をつなぐ～

「地元にいちばん近いゲストハウス」を  
神戸・灘区にオープンするまで。

## vol.4 ゲストハウス編

ゲストスピーカー

朴 徹雄氏

（パク チョルン）

ゲストハウス萬家オーナー  
マヤ

韓国ソウル生まれ。大学卒業後、ワーキングホリデーで来日し、学生時代の夢を叶えるために、日本でゲストハウスを作ることを決意。東京の「ゲストハウス品川宿」での修行後、神戸に引越し、「水道筋商店街」と巡り会う。商店街の近くの空家だった医院を、たくさんの仲間とともに改装して、今年7月に「ゲストハウス萬家」をオープン。

対  
談

神吉 直人氏

（カンキ ナオト）

追手門学院大学成熟社会研究所

経営学部准教授。大学生の頃を振り返っても「やり残した」と思うことはほとんどない。けれど、あえて挙げるならバックパックを背負ってゲストハウスに泊まるような旅がしたかった。ワーキングホリデーの活用もしかり。そして、生まれ育った日本以外で働くという選択肢も、このままいけばなさそうです。それらすべてを経験する朴さんのお話、楽しみです。

シェアラボは、いろんな世代や分野の人が集まって「学び」「対話し」「分かち合う」、気軽にオープンな研究会。学生・教職員・一般、誰でも参加できます!



ドリンク  
ついてます!

お申し込みはコチラまで!

主催：成熟社会研究所（担当：中川）

TEL. 072-665-5068  
seijuku@otemon.ac.jp

[f https://www.facebook.com/otemon.seijuku](https://www.facebook.com/otemon.seijuku)

# シェアラボ

SHARE LAB.  
第4期

## シェアラボってなに？

成熟社会研究所が主催する 2014 年7月よりスタートした参加型研究会。学内外のゲストを迎え、身近な動詞をテーマに世代や専門の垣根を越えてギロン。第1期では「まなぶ」「あきなう」「つたえる」など動詞をテーマに4回、第2期は「ととのえる」シリーズで3回、第3期は「とびこめ、未知へ！」と題して4回開催しました。トークやワークショップを通して学び・対話し・分かち合うことできっと新しい発見が！  
関心ある方はどなたでもご参加いただけます！

第4期は「私の仕事。」を共通テーマに開催。  
働き方の視野が広がる！ 対談形式でお届けします。

日程	テーマ	場所・内容
2017年 6月 1日(木)	vol.1 中小企業編 	16:40～18:40 @追手門学院大学 ゲスト：新居 未希氏 (ミシマ社) 神吉先生が自著「小さな会社でぼくは育つ」の編集担当さんと対談、中小企業や出版業界のことを語りました！
7月 20日(木)	vol.2 工場長編 	16:40～18:40 @追手門学院大学 ゲスト：武藤 北斗氏 (パプアニューギニア海産) 働き方の概念が180度変わる、出退勤自由な「フリースケジュール」について現場でのお話を伺いました！
10月 19日(木)	vol.3 職人編 	16:40～18:40 @追手門学院大学 ゲスト：田村 光啓氏 (田村製作所) 革職人の方が職人となるまでの道のり、職人としてのこだわりなど、モノづくりのあれこれを伺いました！
12月 5日(火)	vol.4 ゲストハウス編	17:00～19:00 @追手門学院大学 ゲスト：朴 徹雄氏 (ゲストハウス萬家) そこは世界の旅人と地域がつながる場所。夢を叶え、神戸にゲストハウスを開いた若きオーナーにお話を伺います。

### お申し込み方法

お名前・連絡先（電話番号またはメールアドレス）を明記の上、以下まで電話・メールにてお申し込み下さい。  
メールは、タイトルに「シェアラボ参加」と記載してください。

成熟社会研究所  
(担当：中川)

TEL. 072-665-5068  
seijuku@otemon.ac.jp

日時・内容は変更になる場合があります。  
各回の詳細が決まり次第、Facebook ページでも告知します♪

 <https://www.facebook.com/otemon.seijuku>

SHARE LAB.